

平成28年度 第2回苫小牧市航空機騒音対策協議会

日 時 平成28年11月28日(月)
午後6時30分
場 所 リサイクルプラザ苫小牧
2階 大会議室

会 議 次 第

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 市長挨拶
- 4 議 題

(1) 報告事項

ア 米軍再編に伴う米軍機訓練移転について

- ・「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過について・・・ 資料1
- ・千歳基地における米軍再編に係る訓練移転(共同訓練)について・・・ 資料2
- ・平成28年11月14日開催の「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」での要請・要望事項及び回答について・・・ 資料3
- ・米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転に関する訓練計画概要について・・・ 資料4
- ・平成28年11月28日開催の「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」での要請・質問事項及び回答について・・・ 資料5
- ・米軍再編に係る千歳基地への訓練移転対応について・・・ 資料6
- ・米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に伴う騒音測定地点について・・・ 資料7
- ・米軍再編に係る各基地の訓練移転経過について・・・ 資料8

イ 沖縄県の負担軽減調査結果について・・・ 資料9

ウ 平成28年度(上期)航空機の部品落下事案について・・・ 資料10

エ 平成28年度要望活動結果について・・・ 資料11

オ 平成28年度再編交付金事業内容について・・・ 資料12

カ 北海道における空港経営改革について・・・ 資料13

(2) その他

ア 新千歳空港の発着枠拡大へ向けた試行運用の実施について・・・ 資料14

イ 新千歳空港国際線ターミナル地域再編事業について・・・ 資料15

苫小牧市航空機騒音対策協議会規約

(目的)

第1条 本市の航空機騒音の発生源対策及び空港周辺対策について協議するため、苫小牧市航空機騒音対策協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

2 協議会は、前項の協議により、陳情その他必要な活動を行うものとする。

(組織)

第2条 協議会は、植苗・美沢地区、沼ノ端地区、勇払地区の各町内会から推薦された2名以内の委員で組織する。

2 委員は、市長が委嘱する。

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長1名及び副会長2名を置き、委員の互選により選出する。

2 会長は協議会を代表し、会務を掌理し、会議の議長となる。

3 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集する。

(事務局)

第6条 協議会の事務を処理するため、事務局を苫小牧市総合政策部に置く。

(委任)

第7条 この規約に定めるもののほか必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

付 則

この規約は、昭和51年9月17日から施行する。

付 則

この規約は、昭和57年4月1日から施行する。

付 則

この規約は、昭和59年1月18日から施行する。

付 則

この規約は、平成3年9月3日から施行する。

付 則

この規約は、平成12年6月23日から施行する。

付 則

この規約は、平成19年5月1日から施行する。

付 則

この規約は、平成21年5月1日から施行する。

苫小牧市航空機騒音対策協議会委員名簿

平成28年6月8日現在（任期：平成27年 5月 1日～平成29年 4月30日）

	氏 名	町 内 会 役 職
会 長	丹 羽 秀 則	植苗・美沢エアカーゴ対策委員会委員長（植苗トアサ）
副会長	丹 治 敏 男	植苗・美沢エアカーゴ対策委員会副委員長（植苗南）
副会長	星 野 邦 夫	沼ノ端中央町内会副会長
委 員	丹 治 秀 寛	植苗・美沢エアカーゴ対策委員会副委員長（植苗南）
〃	齋 藤 謙 吉	植苗・美沢エアカーゴ対策委員会委員（植苗中央）
〃	松 重 茂 雄	植苗・美沢エアカーゴ対策委員会委員（植苗北）
〃	小 倉 巖	ウトナイ町内会会長
〃	星 孝 二	ウトナイ町内会副会長
〃	永 谷 俊 文	拓勇西町内会副会長
〃	小 倉 正 哉	拓勇西町内会副会長
〃	山 端 豊 城	拓勇東町内会会長
〃	高 野 譲	拓勇東町内会総務部副部長
〃	佐 野 輝 幸	沼ノ端北栄町内会会長
〃	星 野 岳 夫	沼ノ端北栄町内会副会長
〃	竹 田 秀 泰	沼ノ端中央町内会会長
〃	三 海 幸 彦	東開町内会会長
〃	牧 田 俊 之	東開町内会総務部副部長
〃	山 崎 洋 一	パルプ町内会環境部長
〃	石 原 幸 雄	勇払自治会副会長
〃	亀 谷 秀 雄	勇払自治会福祉厚生部長
事務局	苫小牧市総合政策部まちづくり推進室空港政策課	

「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過

※平成 28 年度第 1 回苫小牧市航空機騒音対策協議会（平成 28 年 5 月 24 日）以降の経過

平成 28 年 7 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・「米軍再編に係る三沢飛行場からグアム等への訓練移転に関する訓練計画概要について」（通知） ・「米軍再編に係る嘉手納飛行場から小松基地への訓練移転に関する訓練計画概要について」（通知）
平成 28 年 9 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> ・「米軍再編に係る嘉手納飛行場及び三沢飛行場からグアム等への訓練移転に関する訓練計画概要について」（通知） ・「米軍再編に係る嘉手納飛行場からグアム等への訓練移転に関する訓練計画概要について」（通知）
平成 28 年 11 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> ・「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」開催（北海道防衛局） ・「千歳基地における米軍再編に係る訓練移転（共同訓練）について」（概略通知） ・道の連絡会議としての要請及び千歳市・苫小牧市からの個別要望 ・「第 23 回 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議」開催
平成 28 年 11 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所、町内会連合会、警察署、医師会他関係機関へ協力要請
平成 28 年 11 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」開催（北海道防衛局） ・「米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転に関する訓練計画概要について」（詳細通知） ・道の連絡会議としての要請及び千歳市・苫小牧市からの個別要望及び質問 ・「苫小牧市在日米軍再編問題対策会議」部員へ訓練計画概要を周知 ・商工会議所、町内会連合会、警察署、医師会他関係機関へ訓練計画概要を周知

平成28年11月14日

北海道防衛局

千歳基地における米軍再編に係る訓練移転(共同訓練)について

米軍再編に係る訓練移転について、現在、千歳基地において12月上旬に訓練を実施する方向で日米間で調整中です。

訓練移転の期日、参加部隊等の具体的な計画の概要については、決まり次第、お知らせします。

以上

平成28年11月14日開催の「米軍再編に係る千歳基地への
訓練移転に関する連絡協議会」での要請・要望事項及び回答

●北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

- ① 土曜日・日曜日及び早朝・深夜の訓練を実施しないことなど、これまでの両市との協議経過を踏まえ、協定の内容を確実に遵守すること。

また、米軍帰還に際しても、土曜日・日曜日及び早朝・深夜に飛行することのないよう配慮すること。

- ② 自衛隊が通常使用している訓練空域や飛行経路、飛行方法によること。

《回答》①及び②については包括的に回答させていただきます。

千歳基地における訓練移転の実施に当たり、土日・祝日及び早朝・深夜における訓練や、訓練空域、飛行経路、飛行方法などについて、米軍機は、航空自衛隊と同様の態様となります。協定についても、平成19年1月26日に、千歳市及び苫小牧市と締結した「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する協定書」の内容を遵守するとともに、これまでの関係自治体との協議・確認経過を踏まえ、訓練移転を実施してまいります。

また、米軍帰還の際の深夜・早朝の飛行につきましては、米軍の運用上の理由により、事情やむをえず実施する場合がありますが、極力そのようなことが生じないよう米側にも求めてまいりたいと考えております。

- ③ 米軍人の外出時等の対応など本道滞在中における規律の維持に万全の対応を行うこと。

《回答》米軍人の外出時等における局の対応については、前回と同様、必要に応じてサポート等を行い、トラブルの未然防止に努める考えです。

規律の維持についても、防衛省として平素から米側に対し、隊員の教育や綱紀粛正の徹底を図る等、様々なレベルから申し入れを行っており、これまでと同様、当局からも米軍に申し入れを行います。

- ④ 訓練期間中は、貴局において騒音測定を実施するとともに、できる限り早期に結果を公表すること。

《回答》訓練期間中における騒音測定については、これまでと同様、実施し、騒音測定結果についても、速やかに公表したいと考えております。

⑤ 訓練の安全管理及び参加する戦闘機の整備・点検など安全確保に万全を期すこと。

《回答》日米を問わず、訓練に参加する戦闘機については、平素より定期整備、飛行前・飛行後点検等を適正に実施しており十分な安全を確保していると承知しています。

当局としては、訓練移転の実施に際し、航空機の更なる安全確保について、米側に求めてまいりたいと考えております。

⑥ 説明会や米軍ブリーフィング及び戦闘機見学会の開催など、訓練に関する情報を住民、自治体、報道機関に詳細に提供すること。

《回答》現地説明会の実施については、本日のご要望を踏まえ、しかるべく検討したいと考えております。

また、米側によるブリーフィングの実施及び戦闘機の見学についてですが、米側へしかるべく伝えたいと考えております。

関係自治体や報道機関等への情報提供については、可能な限り対応したいと考えています。

⑦ 訓練終了後の「検証」は必ず行うこと。

《回答》訓練終了後において、訓練の状況及び騒音測定結果についての「検証」につきましては、これまでと同様、可能な限り対応してまいりたいと考えております。

●苦小牧市の個別要望

① これまで実施された訓練移転によって、沖縄の負担がどの程度軽減されたのか、目に見える形で検証すること。

《回答》米軍再編に係る訓練移転については、嘉手納飛行場に所在する米軍航空機について、同飛行場周辺の騒音軽減を図るため、本土の関係自治体の皆様の御理解と御協力を得て、平成19年から本土への訓練移転を開始しました。また、平成23年からグアム等への訓練移転、平成26年6月からは三沢対地射爆撃場を使用した空対地射爆撃訓練をそれぞれ実施しているところです。

これまで千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原の自衛隊施設において、これまで国内で44回、グアム等で31回となり合計で75回実施しており、今回の千歳で76回目となります。

これらの訓練移転により、本来であれば嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練の一部が本土又はグアム等に移転されることから、同飛行場周辺の住民に対する騒音

の影響が一定程度軽減されているものと考えています。

なお、一例を申し上げれば、グアム等への訓練移転（国内除く）の実施期間中における嘉手納飛行場での騒音値等を比較したところ、

(1) 嘉手納飛行場内の滑走路端の平均WECPNL値

(滑走路東側)

平成22年度：96.6W

グアム等への訓練移転の実施期間中 (平成23年度～平成27年度)：92.5W

(滑走路西側)

平成22年度：93.0W

グアム等への訓練移転の実施期間中 (平成23年度～平成27年度)：89.7W

(2) 嘉手納飛行場周辺において目視により確認した1日当たりの平均離着陸等回数

平成22年度：123回

グアム等への訓練移転の実施期間中 (平成23年度～平成27年度)：109回

となっています。当局としては今後ともどのような形で関係自治体に情報提供ができるか、本省とも相談しながら検討してまいりたい。

② 戦闘機や輸送機の事故が頻発しており、住民は安全面で非常に不安を抱えていることから、機体点検等を徹底し、安全確保に努めるとともに、発生した事故の原因及び今後の対策について速やかに情報提供を行うこと。

《回答》日米を問わず、訓練に参加する航空機については、平素より定期整備、飛行前、飛行後点検等を適正に実施し、安全の確保に努めていると承知している。

当局としては、訓練移転の実施に際し、航空機の安全確保については当然のことと認識しており、引き続き米軍側に求めていく所存である。

なお、他基地での訓練移転において米軍戦闘機や輸送機の事故が発生した場合には、その原因及び今後の対応について情報が得られ次第、苫小牧市を含む関係自治体に提供できるよう努力してまいりたい。

③ 12月上旬から訓練移転を予定されているが、苫小牧市議会と重複が予想されるため、日程変更等の調整をしていただけませんか。

《回答》千歳基地における訓練スケジュールについて日米間で調整しているところから、本日、御要望がありました内容については、本省にお伝えします。

平成28年11月28日
防 衛 省

米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転に関する訓練
計画概要について

米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

今回で訓練移転は76回目（国内45回、グアム等31回）となり、国内への訓練移転は、平成18年5月の再編実施のための日米のロードマップに基づき、二国間の相互運用性の向上及び米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減するために行われるものです。

- 期 間：平成28年12月5日（月）～12月16日（金）
- 参 加 部 隊：〔米軍〕
 - 第12海兵航空群（岩国）
 - 〔航空自衛隊〕
 - 第2航空団（千歳）、北部航空警戒管制団（三沢）
- 使 用 基 地：千歳基地
- 演 練 項 目：戦闘機戦闘訓練等
- 使用訓練空域：北海道西方空域、三沢東方空域
- 参 加 規 模：タイプⅡ
 - 〔米軍〕
 - AV-8B×4機程度、人員90名程度
 - ※人員、物資輸送のため輸送機の飛来もあり得る。
 - 〔航空自衛隊〕
 - F-15×4機程度

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

以 上

平成28年11月28日開催の「米軍再編に係る千歳基地への
訓練移転に関する連絡協議会」での要請・質問事項及び回答

●北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

連絡会議として、重ねてのお願いとなるが、安全確保や情報公開など、先の要請事項について、再度願います。

《回答》

現地説明会の実施につきましては、先日のご要請を踏まえ、12月5日(月)に実施することとしており、本日、実施のご案内を担当者からご連絡させていただきます。

米側によるブリーフィングの実施及び戦闘機の見学につきましては、連絡会議からのご要請を米側へ伝え、現在、米軍内部で調整しており、回答が得られ次第、ご連絡させていただきます。

続きまして、連絡会議の代表として北海道からご要請のありました7項目のうち、前述に係る要請を除く6項目についての再度の要請につきましては、先般(11月14日(月))の連絡協議会において、お答えさせていただきましたとおりです。

繰り返しになりますが、訓練移転の協定を遵守するとともに、航空機の更なる安全確保及び米軍人の規律の保持について、改めて当局から米軍に申し入れを行うこと、米軍と調整し可能な限りの情報提供に努めるなど、これまでと同様、周辺住民の安心・安全のために最大限努力し、万全の体制で臨みたいと考えております。

●苫小牧市の個別要望

協定等の遵守のほか、機体点検の徹底、訓練の安全管理、米軍人の規律の維持などについて、市民の安心・安全のため万全の体制で訓練を行うよう、重ねてお願いしたい。

《回答》

苫小牧市からのご要望も、連絡会議の7項目に関わることでありますので、北海道への回答をもってかえさせていただきます。

●苦小牧市の質問事項

- ① タイプⅡ訓練ということで、土日を挟む日程となることから、米軍人の外出等が予想されますが、外出等の対応について情報提供をいただけるのか。

《回答》

米軍人の外出等の対応については、必要に応じて米軍人の案内（サポート）、通訳の支援、また、千歳市内の定期的な巡回等を行い、トラブルの未然防止に努める考えです。

- ② 岩国基地のAV-8Bが訓練に参加するとのことですが、新聞報道等では、9月に沖縄で墜落事故を起こしている情報もあることから、安全確保に万全を期していただくとともに、事故原因や今後の対策などについて、情報提供いただきたい。

《回答》

米海兵隊岩国基地所属AV-8ハリアーの沖縄東方沖での墜落事故については、米側としても、事故発生以来、安全を最大限に確保するため、

①航空機部隊の隊員、整備員に対する徹底的な確認

②航空機の安全・技術等に関する手順の検証

③日本国内に駐留するすべてのAV-8ハリアーの徹底的な調査

など、できる限りの措置を講じた結果、安全に飛行を行う態勢が整ったと判断し、飛行再開することとしたと承知しております。

防衛省としては、米側に対し、これらの措置についてより詳細な情報を求めたところ、安全確認のために実施したすべての点検作業を列挙したリストの提供を受けました。このリストの各措置の一つ一つについて、米側に目的や実施方法の確認を行い、把握できた安全確認の内容を取りまとめたと聞いております。

また、米側による安全確認の内容については、防衛省・自衛隊における専門的知見も活用して評価を行った結果として、一定の妥当性を確認したところであり、飛行再開に関する今般の米側の判断は一定程度理解できるものと考えています。

当局としては、今回の訓練移転の実施に際し、改めて航空機の安全確保について、米側に強く求めてまいりたいと考えております。

また、防衛省として米側に対し、事故原因の究明と万全な安全対策を求めており、更なる情報が得られ次第、関係自治体に対し、連絡を行ってまいります。

なお、嘉手納飛行場において、10月7日（金）からAV-8Bハリアーが飛行再開された以降、現在まで2か月程度経過しており、米軍は安全を確保した上で飛行していると承知しております。

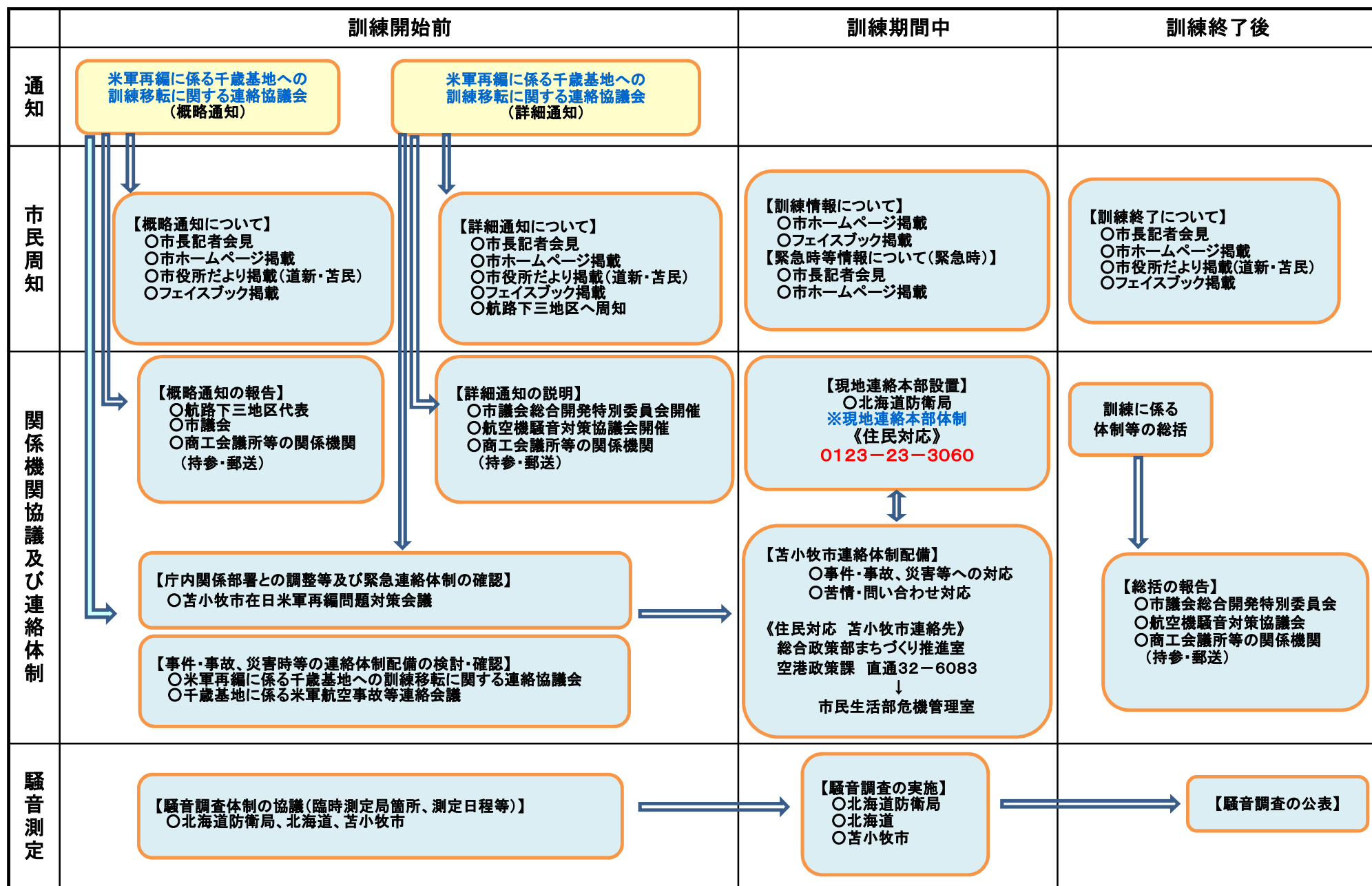
● 11月14日の連絡協議会における苫小牧市の個別要望

- ・ 12月上旬から訓練移転を予定されているが、苫小牧市議会と重複が予想されるため、日程変更等の調整をしていただけないか。

《回答》

今回の訓練移転実施期間の一部が苫小牧市市議会日程と重複することとなりましたが、訓練日程については、日米それぞれの訓練スケジュール等を考慮して、日米間で調整の上、決定されることをご理解とご協力お願いいたします。

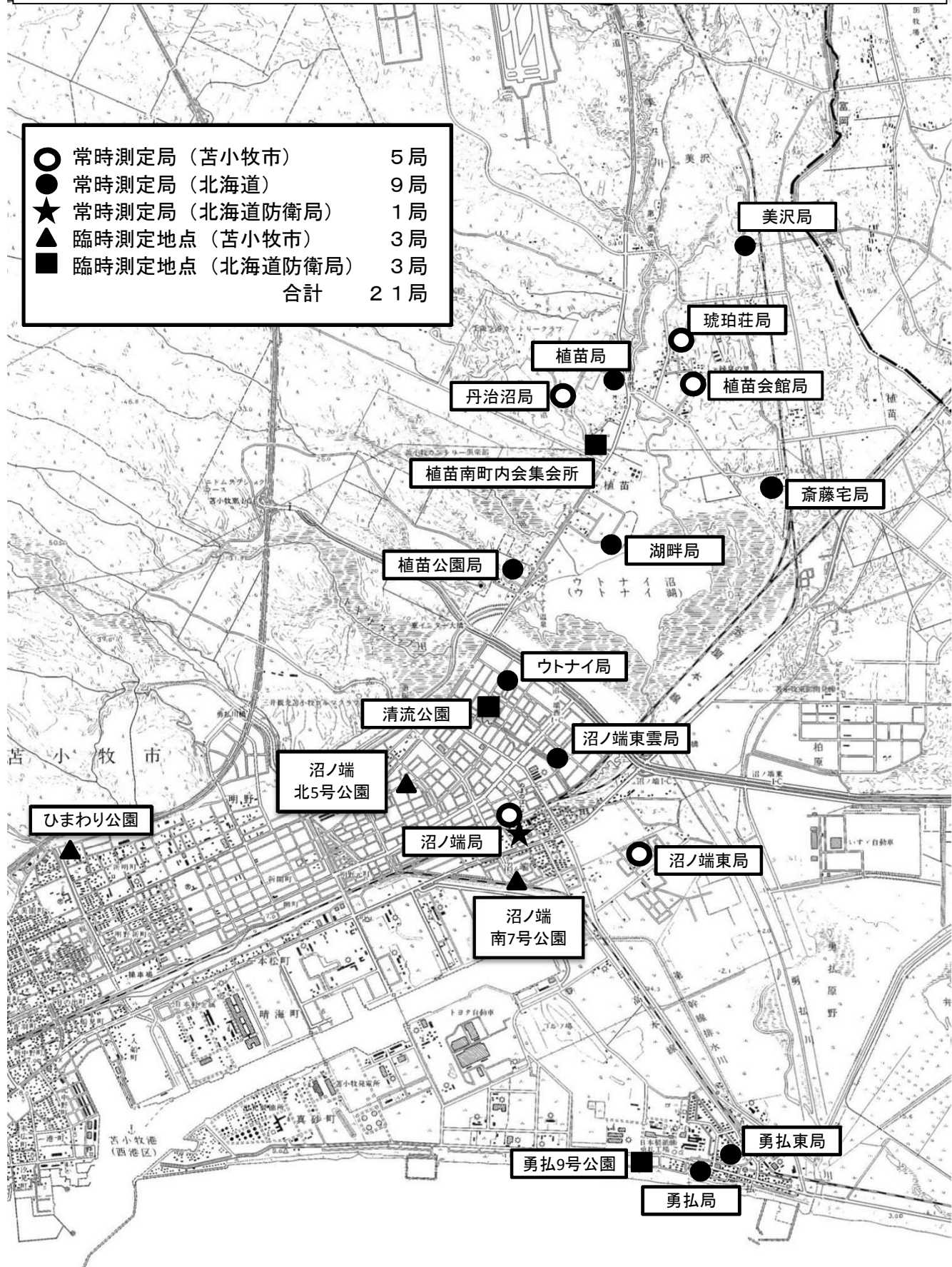
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転対応について





平成28年12月 訓練移転に伴う騒音測定地点

○	常時測定局 (苫小牧市)	5局
●	常時測定局 (北海道)	9局
★	常時測定局 (北海道防衛局)	1局
▲	臨時測定地点 (苫小牧市)	3局
■	臨時測定地点 (北海道防衛局)	3局
合計		21局



◆ 米軍再編に係る各基地の訓練移転経過 ◆

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
18	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1回程度				H19.1.11通知、3月を目途とし回数 の明記はないが1回と思われる		
	築 城	H19.3.5(月)～8(木)	F15×4機 54人	I	嘉手納	道の 連絡会議		
	計	築 城:1回		I:1回	嘉手納:1回	1基地派遣		
19	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1,2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) : 3回程度				H19.1.31通知		
	小 松	H19.5.16(水)～23(水)	F15×5機 約80人	I	嘉手納	2名派遣	19日土曜・20日日曜の訓練は行わ れていない。	
	築 城	H19.6.18(月)～22(金)	FA18×5機 39人	I	岩国	無		
	三 沢	H19.7.16(月)～21(土)	F15×5機 約80人 F16×4機	I	嘉手納 三沢	2名派遣	16日祝日・21日土曜の訓練は行わ れていない	
	新田原	H19.9.3(月)～5(水)	F15×2機 14人	I	嘉手納	2名派遣		
	百 里	H19.10.15(月)～19(金)	F16×5機 77人	I	三沢	2名派遣		
	小 松	H19.11.5(月)～16(金)	F15×12機 約180人	Ⅱ	嘉手納	無	F15 事故調査のため中止	
	百 里	H20.1.15(火)～18(金)	F16×5機 85人	I	三沢	無		
	新田原	H20.2.12(火)～15(金)	FA18×2機 4人	I	岩国	無		
	千 歳	H20.2.25(月)～28(木)	FA18×4機 13人	I	岩国	2名派遣	悪天候のため午前1回2日の訓練	
	計	千 歳:1回 小 松:1回 三 沢:1回 築 城:1回 百 里:2回 新田原:2回 計:8回		I:8回 Ⅱ:0回	三 沢:3回 岩 国:3回 嘉手納:3回	5基地派遣		
20	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1,2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) : 併せて10回程度				H20.6.20通知		
	三 沢	H20.7.23(水)～30(水)	F15×6機 約80人	Ⅱ	嘉手納	2名派遣	26日土曜・27日日曜の訓練は行わ れていない。	
	新田原	H20.9.2(火)～4(木)	F15×2機 18人	I	嘉手納	無		
	小 松	H20.12.1(月)～5(金)	F16×6機 約80人	Ⅱ	三沢	無		
	千 歳	H20.12.8(月)～12(金)	F15×5機 72人	I	嘉手納	2名派遣		
	新田原	H21.2.23(月)～27(金)	F15×5機 81人	I	嘉手納	無		
	計	千 歳:1回 小 松:1回 三 沢:1回 築 城:0回 百 里:0回 新田原:2回 計:5回		I:3回 Ⅱ:2回	三 沢:1回 岩 国:0回 嘉手納:4回	2基地派遣		
21	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1,2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) : 3回程度				H21.1.28通知		
	千 歳	H21.4.20(月)～23(木)	FA18×5機 32人	I	岩国	2名派遣		
	三 沢	H21.7.25(土)～8.1(土)	FA18×7機 約70人	Ⅱ	岩国	無	7/25・26・8/1の土日の訓練は行わ れていない。	
	百 里	H21.10.2(金)～10.9(金)	F15×5機 83人	I	嘉手納	無	機材の点検及び天候不良のため、訓練は 全て中止。テスト飛行1回のみ。	
	小 松	H21.11.14(土)～11.20(金)	FA18×7機 F16×5機 約180人	Ⅱ	①岩国 ②三沢	無	7/14・15の土日の訓練は行われて いない。	
	百 里	H22.1.29(金)～2.5(金)	F15×6機 87人	Ⅱ	嘉手納	無	1/30・31の土日の訓練は行われて いない。	
	三 沢	H22.2.27(土)～3.12(金)	FA18×8機 約150人 F16×4機	Ⅱ	岩国	無	2/27・28,3/6・7の土日の訓練は行 われていない。 千歳基地F15が空域で訓練に参加	
	築 城	H22.3.5(金)～3.12(金)	F16×5機 約90人	I	三沢	無	3/6・7の土日の訓練は行われてい ない。	
	計	千 歳:1回 小 松:2回 三 沢:2回 築 城:1回 百 里:2回 新田原:0回 計:8回		I:3回 Ⅱ:4回	三 沢:2回 岩 国:4回 嘉手納:2回	1基地派遣		
22	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) タイプⅠ・Ⅱあわせて15回程度				H22.1.29通知		
	小 松	H22.6.5(土)～6.18(金)	FA18×10機 約180人	Ⅱ	岩国	無	6/12・13の土日の訓練は行われて いない。	
	三 沢	H22.10.15(金)～10.23(土)	FA18×9機 約150人 (計画:10機 約160人)	Ⅱ	岩国	無	千歳基地F15が空域で訓練に参加 土日の訓練は行われていない。	
	千 歳	H22.11.8(月)～11.19(金)	F15×12機 約170人 (計画:12機 約190人)	Ⅱ	嘉手納	2名派遣	三沢基地F2が空域で訓練に参加。 土日の訓練は行われていない。	
	小 松	H22.12.1(水)～12.11(土)	F16×12機 約200人	Ⅱ	三沢	無	日米共同統合演習の一部として実 施されたため土日の訓練有り。	
	計	千 歳:1回 小 松:2回 三 沢:1回 築 城:0回 百 里:0回 新田原:0回 計:4回		I:0回 Ⅱ:4回	三 沢:1回 岩 国:2回 嘉手納:1回	1基地派遣		

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
23	計 画	下半期に5回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を2～3回程度を目標に計画予定					H23.10.4通知	
	築 城	H23.7.8(金)～7.15(金)	F16×6機 約90人	II	三 沢	無	7/9・10の土日の訓練は行われていない。	
	グアム	H23.10.10(月)～10.31(月) (実績:H23.10.10～10.28)	FA18×20機 約400人	グアム	岩 国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった2週間以上の訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H23.12.1(木)～12.18(日) (実績:H23.12.5～12.19)	FA18×20機 約650人	グアム	岩 国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H24.2.6(月)～2.24(金)	F15×18機 約500人	グアム	嘉手納	無		
	百 里	H24.2.13(月)～2.24(金)	FA18×6機 AV-8B×3機 約90人	II	岩 国	無		
計	千 歳:0回 小 松:0回 三 沢:0回 築 城:1回 百 里:1回 新田原:0回 グアム:3回 計:5回		I:0回 II:2回 グアム:3回	三 沢:1回 岩 国:3回 嘉手納:1回	派遣無し			
24	計 画	10回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を5回程度を目標に計画予定					H24.3.22通知	
	グアム	H24.5.14(月)～6.8(金)	FA18×20機 約600人	グアム	岩 国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	千 歳	H24.9.5(水)～9.7(金)	FA18×4機 約20人	I	岩 国	2名派遣		
	グアム	H24.9.27(木)～10.25(木)	FA18×20機 約600人	グアム	岩 国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H24.11.29(木)～12.18(火)	FA18×20機 MV-22×4機 約880人	グアム	岩 国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	新田原	H25.1.14(月)～1.18(金)	FA18×6機 約90人	II	岩 国	無		
	グアム	H25.1.21(月)～1.30(水)	F16×14機 約190人	グアム	三 沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
計	千 歳:1回 小 松:0回 三 沢:0回 築 城:0回 百 里:0回 新田原:1回 グアム:5回 計:7回		I:1回 II:1回 グアム:5回	三 沢:1回 岩 国:5回 嘉手納:1回	1基地派遣			
25	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H25.3.27通知	
	新田原	H25.6.17(月)～6.21(金)	FA18×8機 約120人	II	岩 国	無	台風接近のため17～19日で終了	
	千 歳	H25.7.8(月)～7.12(金)	F16×6機 約80人	II	三 沢	1名派遣		
	グアム	H25.7.10(水)～8.2(金)	FA18×20機 約550人	グアム	岩 国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.8.12(月)～8.23(金)	F15×18機 約340人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場の訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.10.28(月)～11.8(金)	F16×14機 約190人	グアム	三 沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.12.2(月)～12.20(金)	FA18×20機 MV-22×4機 約1,120人	グアム	岩 国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.12.2(月)～12.20(金)	F15×14機 FA18×6機 約290人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	小 松	H25.12.7(土)～12.14(土)	F15×6機 約90人	II	嘉手納	無	悪天候のため9日、11日のみ実施	
	計	千 歳:1回 小 松:1回 三 沢:0回 築 城:0回 百 里:0回 新田原:1回 グアム:7回 計:10回		I:0回 II:3回 グアム:7回	三 沢:3回 岩 国:3回 嘉手納:4回	1基地派遣		

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
26	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H26.3.28通知	
	三 沢	H26.6.12(木)～6.24(火)	FA18×10機 約180人	Ⅱ	岩国	無	千歳基地F15が戦闘機戦闘訓練及び空対地射撃訓練に参加。	
	グアム	H26.6.19(木)～7.10(木)	F15×16機 約320人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H26.9.5(金)～9.26(金)	F15×16機 約320人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H26.9.15(月)～10.7(火)	FA18×16機 MV22×4機 約1,140人	グアム	岩国	無	岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	新田原	H26.10.18(土)～10.31(金)	F15×12機 約200人	Ⅱ	嘉手納	無		
	小 松	H26.11.7(金)～11.20(木)	F16×8機 約140人	Ⅱ	三沢	無		
	グアム	H26.12.3(水)～12.19(金)	F15×18機 約400人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H27.2.2(月)～2.28(金)	F16×14機 約400人	グアム	三沢	無	三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H27.2.9(月)～2.28(金)	F15×18機 約410人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
百 里	H27.3.9(月)～3.21(土)	FA18×5機 約60人	Ⅱ	岩国	無			
計	千歳:0回 小松:1回 三沢:1回 築城:0回 百里:1回 新田原:1回 グアム:6回 計:10回			Ⅰ:0回 三沢:2回 Ⅱ:4回 岩国:3回 グアム:6回 嘉手納:5回		派遣無し		
27	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H27.3.25通知	
	グアム	H27.7.13(月)～8.7(金)	FA18×10機 約240人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H27.8.17(月)～9.4(金)	FA18×10機 約260人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	築 城	H27.8.21(金)～9.3(木)	F15×12機 約190人	Ⅱ	嘉手納	無		
	百 里	H27.9.7(月)～9.18(金)	FA-18×5機 約80人	Ⅱ	岩国	無		
	グアム	H27.9.11(金)～10.8(木)	FA-18×10機 EA-18×5機 約440人	グアム	岩国 三沢	無	岩国飛行場及び三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	三 沢	H27.12.1(火)～12.18(金)	F-15×12機 約300人	Ⅱ	嘉手納	無	千歳基地F15が戦闘機戦闘訓練に参加。	
	グアム	H27.12.2(水)～12.18(金)	FA-18×10機 EA-6B×5機 約420人	グアム	岩国	無	岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	新田原	H27.12.8(火)～12.11(金)	F-15×4機 約50人	Ⅰ	嘉手納	無		
	千 歳	H28.1.12(火)～1.22(金)	FA-18×5機 約70人	Ⅱ	岩国	1名派遣		
	グアム	H28.2.1(月)～2.28(日)	F-16×14機 約280人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H28.2.7(日)～2.28(日)	F-15×18機 約460人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	小 松	H28.3.7(月)～3.18(金)	FA-18×6機 約70人	Ⅱ	岩国	無		
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:1回 百里:1回 新田原:1回 グアム:6回 計:12回			Ⅰ:1回 三沢:2回 Ⅱ:5回 岩国:7回 グアム:6回 嘉手納:4回		1基地派遣		

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
28	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定				H28.4.4通知		
	グアム	H28.7.19(火)～8.12(金)	EA-18G×5機 約190人	グアム	三沢	無	三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等への移転	
	小 松	H28.7.25(月)～7.29(金)	F-15×5機 約90人	I	嘉手納	無		
	グアム	H28.9.8(木)～9.23(金)	F-15×5機 EA-18G×5機 約400人	グアム	嘉手納 三沢	無	嘉手納飛行場及び三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H28.9.8(木)～9.27(火)	F-15×12機 約340人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	千 歳	H28.12.5(月)～12.16(金)	AV-8B×4機 約90人	II	岩国	1名派遣		
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:0回 グアム:3回 計:5回			I:1回 II:1回 グアム:3回	三沢:2回 岩国:1回 嘉手納:3回	1基地派遣		

(お知らせ)

平成28年7月13日
防 衛 省

米軍再編に係る三沢飛行場からグアム等への訓練移転に関する訓練
計画概要について

米軍再編に係る三沢飛行場からグアム等への訓練移転（単独訓練）に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

今回で訓練移転は71回目（国内43回、グアム等28回）となり、グアム等への訓練移転は、平成23年1月及び10月の日米合同委員会合意に基づき、本来であれば、嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練を、グアム等へ移転するものです。

- 訓練期間：平成28年7月19日（火）～8月12日（金）
- 参加部隊：第138電子攻撃中隊（三沢）
- 訓練場所：グアム島のアンダーセン空軍基地及びその周辺区域
- 演練項目：戦闘機戦闘訓練
- 参加規模：EA-18G×5機程度 等
人員190名程度

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

以 上

(お知らせ)

平成28年7月13日
防 衛 省

米軍再編に係る嘉手納飛行場から小松基地への訓練移転に関する訓練計画概要について

米軍再編に係る嘉手納飛行場から小松基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

今回で訓練移転は72回目（国内44回、グアム等28回）となり、国内への訓練移転は、平成18年5月の再編実施のための日米のロードマップに基づき、二国間の相互運用性の向上及び米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減するために行われるものです。

- 期 間：平成28年7月25日（月）～7月29日（金）
- 参 加 部 隊：〔米軍〕
 - 第18航空団（嘉手納）
 - 〔航空自衛隊〕
 - 第6航空団（小松）、中部航空警戒管制団（入間）
- 使 用 基 地：小松基地
- 演 練 項 目：戦闘機戦闘訓練等
- 使用訓練空域：小松沖空域
- 参 加 規 模：タイプI
 - 〔米軍〕
 - F-15×5機程度、人員90名程度
 - ※人員、物資輸送のため輸送機の飛来もあり得る。
 - 〔航空自衛隊〕
 - F-15×4機程度

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

以 上

小松基地訓練移転調査について

1 訓練概要

- (1) 訓練時期 平成28年7月25日(月)～7月29日(金)
- (2) 訓練形態 タイプ I
- (3) 参加部隊 【米軍】 第18航空団(嘉手納)
【航空自衛隊】 第6航空団(小松)、中部航空警戒管制団(入間)
- (4) 演練項目 戦闘機戦闘訓練等
- (5) 訓練空域等 小松沖空域
- (6) 参加規模 【米軍】 F-15×5機程度、人員90名程度
※人員、物資輸送のため輸送機の飛来もあり得る。
【航空自衛隊】 F-15×4機程度

2 調査事項

	近畿中部防衛局	小松市	加賀市
日米共同訓練に係る協定について	<ul style="list-style-type: none"> ・S50. 10. 4締結の航空自衛隊小松基地の運用に関する協定「協定書」(10. 4協定)を遵守 ・S57. 9.24締結「日米共同訓練に関する協定書」の枠(訓練期間は年約4回、年間合計約4週間)の中で実施 ※訓練移転開始以前から変更なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・10.4協定及びS57年の日米共同訓練に関する協定の中で実施 ※訓練移転開始以前から変更なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・小松基地周辺自治体で締結している10.4協定および昭和57年の日米共同訓練に関する協定の中で実施 ※訓練移転開始以前から変更なし
住民周知に	<ul style="list-style-type: none"> ・公表 7月13日 	<ul style="list-style-type: none"> ・概略通知 7月13日 ・議会、周辺整備協議会へ通知、ホームページに掲載 ※前回の訓練移転時と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月13日:正式通知(近畿中部防衛局地方調整課⇒市企画課へメール) ・同日、基地周辺整備協議会へメールで通知文書を送付、議会:基地・防災特別委員会には通知文書の写しを配付 ※今回より、3地区会館(騒音地区)には基地周辺整備協議会から情報等を連絡することに変更
米兵の行動把握について	<ul style="list-style-type: none"> ・現地対策本部長が米軍飛行隊長を表敬し、安全確保及び服務規律の保持を要請 ・米軍要員は、基地内外来宿舎に宿泊 ・局は、市街地巡回を行いつつ、小松基地、関係自治体及び警察との連携を維持 ・外出あり、苦情、トラブル等なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・市としては、特別な体制は取らずに近畿中部防衛局対策本部から飛行場課長の携帯電話に連絡が入る体制を取った ・苦情、トラブル等はない ※前回の訓練移転時と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ・市としては特別な体制は取らなかった(近畿中部防衛局が現地対策本部を設置) ・問題等が発生した場合には、現地対策本部から市企画課へ連絡が入る体制を取った。 ・苦情、トラブル等はない ※前回の訓練移転時と同様
騒音について	<ul style="list-style-type: none"> ・局は、訓練期間中を通して騒音測定を実施 ・測定ポイントは、小松市内2カ所、加賀市内及び能美市内に各1カ所を設定 ・離陸方向に応じ、2カ所で測定(小松市内1カ所、加賀または能美市内の1カ所) ・訓練初日は小松市内の2カ所において測定を行い、報道に公開 ・小松飛行場周辺整備協議会は独自に測定を実施(局の測定ポイントと同じ) ・騒音苦情 なし ・米軍機最大値: 102.0 ・自衛隊機最大値: 105.0 	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿中部防衛局と小松市との共同測定(周辺整備協議会の立会い)で2箇所の騒音調査 ・結果は、ホームページで公表(8/15up予定) ・騒音苦情件数 0件 内容: ○騒音測定結果の最大値 ・米軍機 : 101.0 dB ・自衛隊機 : 105.0 dB 	<ul style="list-style-type: none"> ・市独自の騒音測定は実施していない ・近畿中部防衛局による騒音測定は、7月27日(水)に実施(後日、測定結果報告を受けた) ・騒音苦情件数 0件 内容: ・騒音測定結果の最大値 米軍機(F-15) :102.0db 自衛隊機(F-15) :103.0db

(お知らせ)

平成28年9月2日
防 衛 省

米軍再編に係る嘉手納飛行場及び三沢飛行場からグアム等への訓練
移転に関する訓練計画概要について

米軍再編に係る嘉手納飛行場及び三沢飛行場からグアム等への訓練移転(単独訓練)に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

今回で訓練移転は74回目(国内44回、グアム等30回)となり、グアム等への訓練移転は、平成23年1月及び10月の日米合同委員会合意に基づき、本来であれば、嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練を、グアム等へ移転するものです。

- 訓練期間：平成28年9月8日(木)～9月23日(金)
- 参加部隊：第18航空団(嘉手納)、第138電子攻撃中隊(三沢)
- 訓練場所：グアム島のアンダーセン空軍基地及び北マリアナ諸島の
ファラロン・デ・メディニラ空対地射場
- 演練項目：戦闘機戦闘訓練、空対地射爆撃訓練
- 参加規模：F-15×5機程度、EA-18G×5機程度、空中給油機×2機、
早期警戒管制機×1機 等
人員400名程度

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

以 上

(お知らせ)

平成28年9月2日
防 衛 省

米軍再編に係る嘉手納飛行場からグアム等への訓練移転に関する訓練計画概要について

米軍再編に係る嘉手納飛行場からグアム等への訓練移転(単独訓練)に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

今回で訓練移転は75回目(国内44回、グアム等31回)となり、グアム等への訓練移転は、平成23年1月及び10月の日米合同委員会合意に基づき、本来であれば、嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練を、グアム等へ移転するものです。

- 訓練期間：平成28年9月8日(木)～9月27日(火)
- 参加部隊：第18航空団(嘉手納)
- 訓練場所：グアム島のアンダーセン空軍基地及びその周辺区域
- 演練項目：戦闘機戦闘訓練
- 参加規模：F-15×12機程度 等
 人員340名程度

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

以 上

